

学校概要

創立 38 周年	学校長 福嶋 圭輔	副校長 長島 和広	学期 3 学期制	児童・生徒数 366 人
学級数 一般級: 10 個別支援級: 2		主な関係校: 本宿小学校、鶴ヶ峯小学校		

学校教育目標

- ◎ 豊かな心とたくましい心身の醸成 (徳)(体)
- ◎ 自らの生き方を創る力の伸長 (知)
- ◎ 共に生きる態度の育成 (公)(開)

学校の特色

本宿中学校は、雑木林や農地が多く残り、豊かな自然を感じながら生活ができる場所に位置しています。生徒たちは、地域で行われる納涼祭等にボランティアで参加したり、吹奏楽部が老人ホームで演奏したりするなど、地域の一員として活躍しています。また、PTA活動も活発に行われ、各委員会活動をはじめ学区内の小学校PTAとの交流活動(ブロック会議)やふれあいバザーなどの行事も盛り上がりを見せています。このような環境のもと、生徒たちは明るく伸びやかに学校生活を過ごしています。日頃の授業を大切に、体育祭や芸術祭などの行事では友人と協力しながら、学校生活を潤いのあるものにしていきます。また、部活動にも多くの生徒が参加し、切磋琢磨しながら豊かな心とたくましい心身をはぐくんでいます。

学校経営中期取組目標

- 習得した知識や技能を活用して、自ら考えて解決する力を高めます。(知)
- 自ら進路を選択する力と生涯にわたり学び続けようとする態度を育成します。(知)
- 思いやりの心や豊かな感性を育むとともに、耐える力を高めます。(徳)
- 自ら心身の健康の保持・増進に努力する習慣をつけていきます。(体)
- 自他の生命を大切に、違いを認め合える豊かな人権意識を高めます。(公)
- 福祉の心を培い、進んで人や社会のために貢献する態度を育成します。(開)

小中一貫教育の取組

本宿中学校	ブロック	本宿中学校・本宿小学校
9年間で育てる子ども像	○自他の生命を大切に、高い共生の意識をもった子ども ○自ら課題の解決を図り、自分の生き方を創ろうとする子ども	
自校の具体的取組	・ 1年次は職業講話と福祉体験、2年次は職場体験、3年次は進路決定と、3年間を見通したキャリア教育と福祉教育を実施します。その中で、自らを見つめながら将来を形成しようとする生きる力、共に生きようとする意識を育みます。 ・ 各教科領域で、アクティブラーニングを意図的・計画的に取り入れて学習活動を展開し、小中合同授業研究ならびに小学校への出前授業を通して課題解決能力や創造的に考える力を育てます。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	確かな学力の獲得にむけた支援 少人数学級編成による指導の充実	全国並びに横浜市学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各教科領域の指導において確かな学力の獲得を支援します。さらに、従来の1学年数学科少人数編成による指導を2学年にまで拡大し充実を図るなどの工夫により基礎的・基本的な知識技能の定着とそれを活用する力の育成、学習に真摯に向き合う態度の育成を目指します。
豊かな心	自律と自立による自己の確立支援 豊かな人間関係構築に向けた支援 特別の教科道徳の指導法工夫・改善	日頃の学習活動や委員会活動、部活動等あらゆる教育活動を通して、自律と自立による自己の確立とそれを基盤とした豊かな人間関係の構築を支援します。また、あらゆる教育活動を通じて、高い人権意識をもった活動を実践するなど、道徳教育の充実に努めます。あわせて特別の教科道徳の指導法の工夫・改善に努めます。
健やかな体	生涯にわたって健康で安全な生活を送ろうとする意識の醸成	生涯にわたって健康で安心安全な生活を送る姿勢の素地を養うため、全ての教育活動の中で、体力向上、心身の健康および安全に対して、生徒が自ら向き合えるよう指導します。
生徒指導	自尊感情の高揚と規範意識の醸成 不登校生徒の状況改善 特別支援教育の充実	集団活動を通して、自尊感情を高めるとともに、規範意識の醸成に努めます。全教職員が一人一人の生徒と積極的に関わり、信頼関係を構築します。その上で、家庭や他機関と協力しながら不登校生徒の状況改善に全力で取り組みます。生徒一人一人の課題を見つめ、特別支援教育を充実させます。
いじめへの対応	早期発見・迅速対応による未然防止 生徒の心情に寄り添った丁寧な支援 防止教育の充実	日常の生徒理解やアンケート調査等を活用し早期発見、迅速対応に努め、未然防止と事態の重大化の抑制を図ります。保護者との連携を基に生徒の心情に寄り添った適切で丁寧な支援を心掛けます。特別の教科道徳及び集会等の講話を通して学校教育目標「共に生きる態度」に重点を置いた指導により防止教育を充実させます。
キャリア・福祉教育	勤労に対する意識の高揚 意思決定能力人間関係形成能力の伸長 体験活動を通じた社会福祉への参画意識の高揚	1年次は職業講話、2年次は職場体験をすることで勤労に対する意識を高め、3年次は自らの進路を決定することで意思決定力や人間関係調整力などの生きる力を育みます。1年次より、区の社会福祉協議会を活用し高齢の方や障害をお持ちの方を講師として招聘。講演と福祉活動体験により人権意識を高めます。
地域連携	地域との協働による教育の充実 多角的な学校評価の実現	ニコニコファームの共同管理など地域行事等への、生徒・教職員の積極的な参加により、地域とのコミュニケーションを深めます。本宿中学校教育懇話会を年3回以上開催し、多角的な学校評価を実現します。学区縮小に伴う地域連携の在り方を見直します。
人材育成・組織運営	キャリアステージに応じたOJTの充実	授業力向上に向けて、講師を招聘した職員研修や互見授業の充実を図ります。メンターチームを結成し、組織的にOJTの充実を図ります。日々の教育実践の中で、教職員相互に指導助言を活発に行い、情報共有と生徒指導力の向上に努めます。